令和４年７月21日開催

本会議は、Ｗｅｂ会議システムにより開催した。

＜発言者＞	＜項目・内容＞
	１　委員長挨拶
委　員　長	「先日、安倍元総理が銃撃されたことについて、心からお悔やみ申し上げる。かつて安倍元総理が現職の時に、会合にご出席いただいたが、その時に警察官がたくさんいたのを見たことがある。島根県においても、いろいろな大きな大会や会合があると思うが、この事件に接し、これから警護のあり方も変わっていくのではないかと思った。 また、雨が降り続けており、線状降水帯が発生した地域があった。県下では大きな被害がなく、ありがたく思っている。警察は、災害対策についてもしっかりとやっていただいており心強い。梅雨が戻ってきたようであるが、大きな災害が発生しないよう祈りつつ、雨が上がってほしいと思っている。色々な事件、災害等が発生する中で警察は大変だと思うが、一層、県民の安全安心を守っていただくよう願っている。」
	２　議題 **情報公開条例及び個人情報保護条例に基づく審査請求に対する裁決書（案）**
警　察　本　部	情報公開条例及び個人情報保護条例に基づく審査請求に対する裁決書（案）について説明があり、原案のとおり決定した。
	３　報告 **⑴　令和４年度第１四半期随時監察実施結果**
警　察　本　部	令和４年度第１四半期随時監察実施結果について報告があった。
	⑵　島根県警察サイバー防犯ボランティアの委嘱
警　察　本　部	「安全・安心なサイバー空間の確保に資するため、平成23年から、県内に居住するインターネット利用者で、サイバーパトロールやサイバー犯罪に対する広報・啓発活動などのボランティア活動に従事してもらえる方を「島根県警察サイバー防犯ボランティア」に委嘱している。被委嘱者は現在59人で、本年６月22日から同月29日にかけて、島根大学の学生・教職員、島根県立大学、松江工業高等専門学校において、委嘱式を開催し、新規委嘱者に委嘱状を交付した。活動内容は、日常生活を通じて違法・有害情報

を発見した際に警察本部やインターネット・ホットライン・センターに通報してもらうサイバーパトロールや、サイバーセキュリティ月間における街頭チラシ配布、高校への出前授業、啓発動画を作成しており、その動画への出演や、各種の広報啓発活動にも参加してもらっている。また、ボランティア自身が被害者になったり、違法行為を行うことが無いよう、ボランティアに対する研修会も開催している。今回も、委嘱式後に研修会を実施し、サイバー空間の情勢や、違法・有害情報の通報要領、サイバーパトロールの実演を行っている。通報フォームの開設については、今年度から、「違法・有害情報の通報活性化」「警察への通報の簡略化」を目的とし、コピーアンドペーストやスクリーンショットで作成して通報できるように通報フォームを新たに作成し、ボランティアに活用してもらうこととなった。通報を受けた情報については、捜査や削除依頼のほか、事例紹介などの資料に活用することにより、県民の被害防止に役立てることとしている。」旨の報告があった。

委　　員　〔意見〕「ボランティアとして活動をしてもらえて良かった。しっかりとした活動をお願いする。」

委　　員　〔意見〕「日進月歩の分野であり、これから社会に出て行く学生がボランティアを行うことは、色々な意味で自覚を促し社会のために役立つ良い方法である。」

委　　員　〔意見〕「デジタル化の波に遅れないように、サイバー空間の情報処理に長けた警察官の養成に力を入れてほしい。仮想空間では、アバターを利用した会議等も始まっている。サイバーポリスを増やして、実務を訓練して犯罪を未然に防ぐことに繋げていくと良い。」

⑶　機動隊専門部隊の精強化に向けた取組

警　察　本　部　「機動隊では、集団不法事案に対応する治安警備部隊のほか、緊急事態に対処するため専門的な知見・能力を有する各種専門部隊を設置し、有事に備えた実戦的な事案対処訓練を継続的に実施している。練度の向上のための訓練である。レンジャー訓練棟や潜水訓練棟の活用による隊員の安全性を考慮した段階的な訓練や車庫等を活用した少人数による反復訓練を実施している。また、警察署や航空隊との定期的な情報交換及び合同訓練、専門的な技術習得のための民間企業と連携した官民一体型の訓練を実施している。特殊車両及び各種装備資機材の有効活用として、反復継続した装備資機材の取扱訓練や迅速な出動態勢を確保するための各種装備資機材の点検整備、帯同装備品の恒常的な検討を行ってい

る。指導員等の育成として、部隊活動に必要な資格取得や各種講習への積極的参加と還元教養を行っている。ドローンオペレーターの育成として、講習への参加や定期的な飛行操作訓練を行っている。」旨の報告があった。

委　　員　〔意見〕「以前訓練を見学をしたが、しっかりと訓練が行われていると思う。ドローンの活用も必要であるので、しっかり育成してほしい。」

委　　員　〔意見〕「ソフト面とハード面の充実が大事である。技術の向上と資機材の有効活用が重要であり、経費を要するものであると思うので、予算の確保も必要である。」

委　　員　〔意見〕「昨年の訓練の視察と、先日の航空隊の視察をして、ハイテク機器は素晴らしいと感じた。これらを使い、犯罪捜査、警備、災害対応等することも大事だが、現場で活躍する指揮官の養成をしっかり行ってほしい。警察だけでなく、他機関や自治体等と連携する時にも、トップは誰なのか明確にすることが必要である。また、民間人も自分の命は自分で守ることも大事だと感じた。訓練もしっかりやることが大事である。」

４　連絡事項

安倍元総理大臣の銃撃事案

警　察　本　部　「７月８日、奈良県内において発生した安倍元総理大臣銃撃事件に関し、当県警察では、当日、危機管理対策委員会を開催して、期間中の参議院議員通常選挙の警戒警備の徹底を図ることを確認したほか、引き続き各種警戒警備に万全を期していく。」旨の報告があった。

５　本部長総括

本　部　長　「先週から雨がかなり降っているが、それでもまだ水害が起きた県に比べれば雨も少なく、被害状況もそれほど大きくないところである。しかし、冒頭の委員長からのご指摘のとおり、大雨が降る時期であるのでしっかり取り組んで参りたい。

７月10日に投票があった参議院議員通常選挙であるが、県内においては、特異な動向等なく終わっている。ただ、先ほど警備部長が説明したとおり、安倍元総理が応援演説中に銃撃された事件が起きている。これについては、警察庁で検証チームが立ち上がり、検証を進めていると聞いている。結果などについては、公安委員会にその都度報告したいと思っている。来年は広島でＧ７広島サミット、2025年には大阪万博が開催される予定である。外国人の要人警護も

想定されるので、当県でもしっかり体制を整えて参りたい。」